



12品目のさまざまな料理を楽しむ来場者の皆さん

市内の郷土の味楽しむ

ふるさとの味まつり

NPO法人七時雨いきいきネットワークと市食生活改善推進員連絡協議会が共催する「ふるさとの味まつり」が12月20日、大更公民館で行われました。

当日は、市内外から約150人が来場。手打ちそばや煮しめ、みそそばさみなど計12品目の郷土料理に舌鼓を打ちました。友人と来場していた小野寺アヤ子さん(70)＝荒木田＝は、「普段食べているものですが、味付けの違いなども感じられ、楽しめました」と、にこやかな表情で語りました。

食することの意味熱演

劇団「ふるさと発信株式会社」公演

安代地区に本拠を置く劇団「ふるさと発信株式会社」の第16回公演「明日、君を食べるよ。」が12月1日、安代小学校体育館で行われました。

公演は、ある理由で牛を飼うことになった主人公の少年が、その牛を食べることによって、他の生き物の命をもらって生きていることを認識し、「いただきます」の本当の意味を知るという内容。公演終了後、素晴らしい演技を見せた劇団員に対し、約150人の来場者から大きな拍手が送られていました。



劇団「ふるさと発信株式会社」の団員が真剣に演技

1年振り返り成果披露

市スポーツ少年団活動発表会

市スポーツ少年団活動発表会が12月1日、市総合運動公園体育館で行われました。

当日は、市内31団体のうち22団体、約330人が出席。開会式では、市スポーツ少年団の高橋和夫本部長が、「活動では、楽しいことも苦しいこともあったと思いますが、その全てが皆さんの宝物です」と、あいさつしました。その後、各団体の主将などにより日頃の活動や練習内容の発表・紹介が行われ、団員たちは互いに意欲を高め合いました。



型の演武を披露した市空手道スポーツ少年団

地域の魅力掘り出そう

盛岡法人会八幡平地区3支部合同経済講演会

盛岡法人会の八幡平地区3支部が主催する経済講演会が11月27日、新安比温泉静流閣で開かれました。

講演会には、市内外から約100人が参加。世界的建築家の隈研吾氏と江戸川大学の鈴木輝隆教授が「魅力的な町を場所の力から考える」と題して、地域資源の活用方法などを紹介しました。隈氏は、自身が携わった建築物について触れながら、「厳しい状況の中でこそ、面白く個性的なものが出来上がる」と、参加者に訴えかけていました。



出席者はスライドを見ながら講演に耳を傾けました

国体競技を実際に体験

ビームライフル体験教室

ビームライフル体験教室が11月26日、松尾地区公民館体育館で行われました。

体験教室には、子どもやその保護者など約30人が参加。会場には、ビームライフルとビームピストルが準備され、参加者は約10m先の標的を狙い、神経を研ぎ澄ませていました。この種目は、特別な資格が不要で、初心者や子どもでも挑戦しやすく、平成28年に開催される希望郷いわて国体では、本市が会場になっています。



真剣な表情で狙いを定める子どもたち

新年に向け料理を学ぶ

お正月料理とテーブルコーディネート

安代地区公民館の移動講座「お正月料理とテーブルコーディネート」が12月14日、五日市公民館で開催されました。

講座には、地域住民ら約10人が参加。フードコーディネーターの近藤祐子さんを講師に、正月料理の調理方法などを学びました。全員で料理を試食した後、近藤さんが正月に合わせた盛り付け方法などを紹介すると、参加者からは、「家でもやってみようかしら」といった声が聞かれました。



講師の近藤さん(右)から盛り付け方法を学ぶ参加者

すなっぷギャラリー



陸上自衛隊岩手駐屯地とバイアスロン大会の協力協定を締結(12月17日、滝沢村・岩手駐屯地)



スキー場開きで田山スポ少の団員と関係者らがテープカット(12月21日、田山スキー場)



有限会社生田精密の新工場が落成し、関係者に披露されました(12月6日、大更地内)



民生・児童委員に委嘱状が交付されました(12月6日、西根地区市民センター)



サンタクロースさんからプレゼントが贈られました(12月21日、寄木保育所)